

Toward

Well-Being

第2期王寺町教育振興ビジョン

未来を創る学びの実現

～王寺ではぐくむウェルビーイングをめざして～

令和8年3月

王寺町教育委員会

新しい時代の教育をめざして

社会は、人口構造の変化や国際化の進展、デジタルトランスフォーメーション (DX) の進展などにより、大きな転換期を迎えています。本町の教育も、その影響を受け、これからの方向性を見直す時期にあります。

いま大切なのは、こどもたちが自分の思いを大切にし、新しい考えを生み出しながら、未来を自ら切り拓いていけるように支えていくことです。人と支え合い、思いやりをもって関わる姿勢や、違いを認め合い互いを尊重する心を育むことは、**持続可能な社会をつくる力**につながります。



また、一人ひとりが幸せや生きがいを感じ、地域全体としても豊かさを実感できるよう、教育を通じて**ウェルビーイング**を高めていくことが重要です。自分を信じ、自分らしさを大切にする気持ちを育てながら、より良い社会へと歩いていけるよう取り組んでいくことが重要になります。



こどもたちが幸せな未来を創っていく

王寺町では、このような教育をめざしていきます。

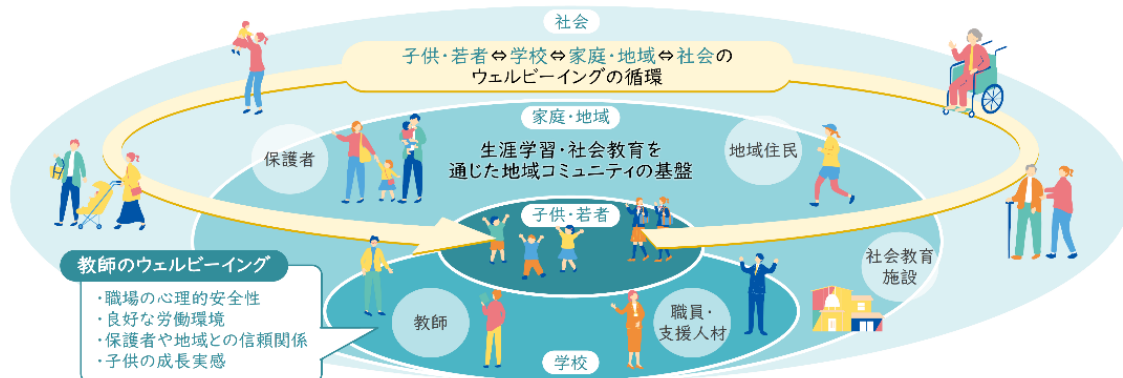


ウェルビーイングとは

ウェルビーイングとは、心や体が健やかで、人とのつながりも心地よい状態のことをいいます。今の幸せだけでなく、生きがいや人生の意義など、長く続く幸せまで大切に考える方です。

王寺町では、教育を通して、こどもをはじめ、教育に関わるすべての人のウェルビーイングを高める「王寺町版ウェルビーイング」を追求していきます。

【学校・地域・社会全体で高め合うウェルビーイングのイメージ】

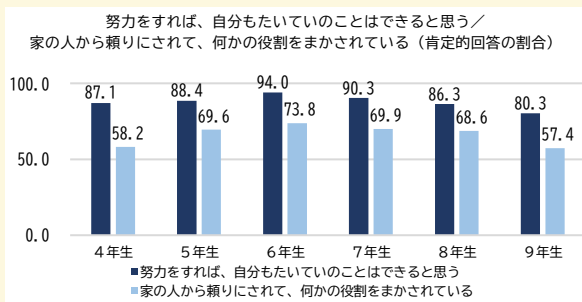


出典：文部科学省 教育振興基本計画（リーフレット）3頁

子どもたちが育つ環境は大きく変わり、求められる力も多様になっています。自分を信じる気持ちや学ぶ楽しさ、仲間とのつながり、デジタル社会への適応、社会への関心、そして生涯にわたって学び続ける姿勢——これらは、どれも未来を生きるために欠かせない力です。だからこそ、子どもたち一人ひとりが自分らしく成長し、地域とともに幸せを育ていけるように、今、教育を新しい方向へ進める必要があります。

◇ 子どもたちの学びとウェルビーイングの現状（6つの視点）

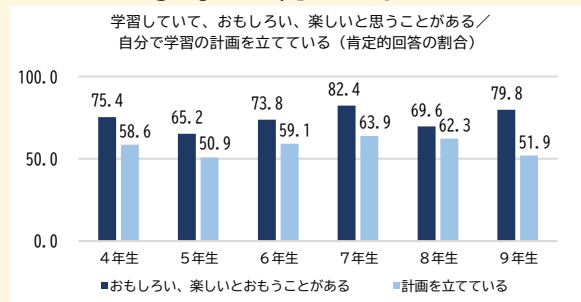
① 自己肯定感



- ・努力への自信は、学年が上がるにつれて減少傾向
- ・役割を持てる場づくりが重要

（令和7年度 ベネッセ総合学力調査）

② 学びに向かう力



- ・学習することが、楽しいと思っている子が多い
- ・計画づくりは伸ばす余地あり

（令和7年度 ベネッセ総合学力調査）

③ 協調と共生

グループやクラスの話合いでは、
自分の考えや意見を積極的に出している

4～9年生の肯定的回答の平均（%）

62.3%

先生は、児童生徒と信頼関係があり、
児童生徒の悩みや相談に丁寧に対応している

保護者の肯定的回答の推移（R5～R6）

85.0% → 78.0%

- ・半数近くは、自分の考えや意見を出せていない
- ・先生の児童・生徒への対応は少し低下

（上段：令和7年度 ベネッセ総合学力調査 下段：令和6年度 学校評価アンケート）

④ デジタル社会への適応

メディアセンターを活用し、読書や調べ学習ができた

5～6年生の肯定的回答の推移（R5～R6）

78.0% → 72.0%

デジタルドリルなどを使い自分に合った学習課題に取り組み、
できなかったことができるようになった

8～9年生の肯定的回答の推移（R5～R6）

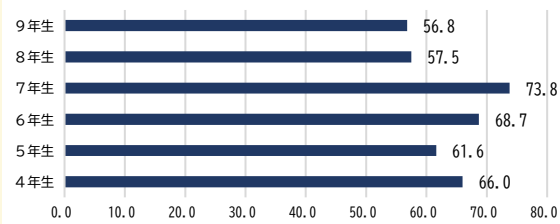
81.0% → 65.0%

- ・読書離れへの配慮が必要
- ・DXに対応した教育の充実が重要

（令和6年度 学校評価アンケート）

⑤ 社会参画力

社会で問題になっていることについて、どうすればよいか、
考えたことがある（肯定的回答の割合）

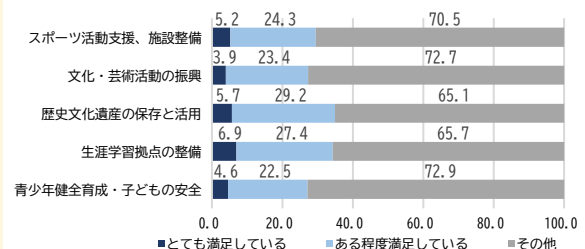


- ・8・9年生の社会課題への関心を高めることが必要
- ・社会参画力を育成することが重要

（令和7年度 ベネッセ総合学力調査）

⑥ 生涯学習

人を育みみんなが学べるまちづくりにおける現在の満足度（満足している割合）



- ・更なる学びの場づくりの推進
- ・地域のつながり強化が重要

（令和5年度 総合計画アンケート）

未来を創る学びの実現 ～王寺ではぐくむウェルビーイングをめざして～

「未来を創る学びの実現」のため、王寺町は5つの基本方針を掲げます。

自己肯定感、人とのつながり、社会に関わろうとする意識——こうした力が重なり合って、子どもたちは自ら未来を切り拓いていきます。

そして、教職員、家庭、地域がともに支え合い、学び合い、つながり合うこと。その積み重ねが、子どもたちの成長を確かなものにし、町全体の活力へと広がっていきます。

本計画は、子どもと町民のウェルビーイング向上を中心に据え、未来を見据えた5つの施策を一体的に進めていきます。

1. 新しい時代に向けた学校教育の推進

社会が急速に変化し、テクノロジーの進展や多様化する価値観への対応が求められる現代において、学校教育はその基盤となるべき役割を担っています。本方針では、子どもたちが未来を切り拓く力を育むことを目指し、新しい時代にふさわしい学校教育を推進します。

2. 幸福に向けた豊かな心と健やかな体の育成

子どもたちが自らの人生を幸福に生きるためには、内面的な充足感と健康な身体が欠かせません。本方針では、豊かな心と健やかな体を育むことで、子どもたちが自分自身と他者を尊重し、生きる喜びを実感できるような教育を推進します。

3. 一人ひとりを大切に誰一人取り残さない教育の推進

教育は全ての子どもたちにとって平等に与えられるべき権利であり、その中で一人ひとりの個性や背景を尊重することが求められます。本方針では、一人ひとりの子どもが持つ可能性を最大限に引き出しながら、誰一人取り残さない教育を実現することを目指します。

4. 学校・家庭・地域とともに創る教育の推進

子どもたちが健やかに育ち、未来を担う力を育むためには、学校教育だけでなく、家庭や地域が連携して子どもの成長を支える取り組みが重要です。本方針では、学校・家庭・地域がともに協力し合い、子どもたち一人ひとりに寄り添った教育環境を創り上げることを目指します。

5. 生涯学び、活躍できる環境づくりの推進

社会が変化し続ける現代において、人々が年齢や世代を問わず学び続けることは、自己の可能性を広げるとともに、地域社会の活性化にもつながります。本方針では、子どもから大人まで誰もが学び、培った知識や経験をもとにその力を発揮できる環境づくりを目指していきます。

未来を創る学びの実現

～王寺ではぐくむウェルビーイングをめざして～

5つの基本方針 具体的な戦略

基本方針1

新しい時代に向けた
学校教育の推進



基本方針2

幸福に向けた
豊かな心と
健やかな体の
育成



基本方針3

一人ひとりを
大切にしたい
誰一人
取り残さない
教育の推進



基本方針4

学校・家庭・
地域とともに
創る教育の推進



基本方針5

生涯学び、
活躍できる
環境づくり
の推進



基本方針に共通する視点

創造

新しい社会を創る
子どもたちを
育てます



充実

心身ともに充実した
子どもたちを
育てます



挑戦

新しい技術・視点の
活用に向けて
チャレンジします



包摂

すべての
子どもたちに
適切な教育を
提供します



新しい時代に向けた学校教育の推進

こどもが自ら学び、つながり、未来を切り拓く力を育てるため、就学前から義務教育まで一貫した「主体的な学び」と「デジタル活用」を進めます。教職員の成長と働きやすさも整え、学びを支える大人も含めて、だれもがウェルビーイングを実感できる教育へと進化させます。

幼稚園教育の充実

義務教育学校の教育充実

教職員の資質・能力向上

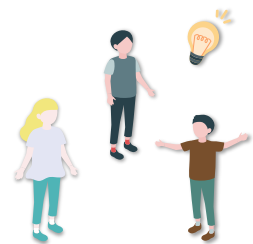
教職員の働き方改革

就学前と義務教育の連携強化

PICK UP

王寺版 自律・挑戦・協創型学習

王寺町では、国が示す「個別最適な学び」「協働的な学び」「主体的・対話的で深い学び」を統合し、独自の学習スタイル「王寺版 自律・挑戦・協創型学習」を推進します。これは、こどもたちが自分の学びをつくり、問いを深め、仲間と価値を生み出すための“具体的な学び方”を示したものです。



◇ 自律：自分で学びをデザインする力

興味や疑問を起点に課題を設定し、学習履歴を振り返りながら次の学びを自ら決める力を育てる。

◇ 挑戦：問い続け、深く考える力

「なぜ？」「どうすれば？」と問い続け、失敗を恐れず粘り強く取り組む姿勢を育てる。

◇ 協創：仲間と価値を生み出す力

多様な仲間と対話し、一人では生み出せない解決策や価値を共につくる力を育てる。

自分で学びをつくる〈自律〉、問いを深める〈挑戦〉、仲間と価値を生む〈協創〉。

王寺町では、「教育課程柔軟化サキドリ研究校」として余白を活用し、この3つの力を育てる学びを軸に、こどもたちの未来を支えます。

基本方針

2

幸福に向けた豊かな心と健やかな体の育成

こどもが心身ともに健やかに成長できるよう、人権・道徳教育や自然体験、体育・健康教育、食育を充実させます。SDGs や読書活動にも取り組み、豊かな心と健やかな体を育む教育環境を整えます。



人権・道徳教育の充実

自然体験・環境学習の推進

体力向上と体育活動の充実

健康教育・食育の推進

SDGs 教育の推進

読書活動の充実

PICK UP

自然体験

王寺町の豊かな自然は、こどもの心を育てる大切な学びの場です。

自然保育や明神山登山、菩提キャンプ場での野外活動、農作物の栽培体験など、日常では得られない体験を通して、生命を大切にする心、仲間と協力する姿勢、自然への感謝や規範意識を育てます。

また、地域の清掃活動や「花いっぱい運動」など、環境を守る取組にも参加し、自分たちの町をよりよくなる“社会参画の第一歩”を踏み出せるようサポートします。

基本方針

3

一人ひとりを大切にした 誰一人取り残さない教育の推進

一人ひとりの学びと成長を支えるため、特性や状況に応じた支援を充実させ、誰一人取り残さない教育を進めます。



一人ひとりの状況に応じた教育の推進

安全・安心な環境づくりの推進

生活指導の充実

PICK UP

不登校

不登校が増える中、王寺町では社会的な自立につながるよう、こどもが安心して学び続けられる環境づくりを進めています。

学び・心・生活の3つの側面から、こども一人ひとりに寄り添った支援を行います。

- ◇ **学びの保障** こどものペースに合わせて、無理なく学びを再開できる仕組みを整えます。
- ◇ **心のケア** 安心できる大人とのつながりを確保し、孤立を防ぐ支援を行います。
- ◇ **学校とのつながり** 学校復帰を“ゴール”にせず、こどもが自分のペースで関われる関係づくりを大切にします。

学校に来られない日があっても、学びは止めない。つながりも切らさない。

王寺町では、こどもの「安心できる居場所」と「自分らしい学び方」を支えます。

学校・家庭・地域とともに創る教育の推進

学校・家庭・地域が協力し、こどもを“みんなで育てる”教育環境づくりを進めています。地域行事への参加・参画、見守り活動、学校運営協議会などこどもと地域とがつながる機会の充実を図っていきます。

学校・家庭・地域の連携強化

キャリア教育の充実

地域に開かれた学校づくり

家庭教育支援の充実

地域人材の活用

地域コミュニティの活性化

PICK UP 地域人材 × 教育支援：地域の力で、こどもの学びを広げる

王寺町では、地域の多様な人材が学校教育を支える仕組みを整え、こどもたちの学び・体験・安心を“地域ぐるみ”で支える教育を進めています。学習支援、見守り、文化・スポーツ活動など、地域の力がこどもの成長を後押しします。

◇ **学びを支える地域の力** - 寺子屋塾（雪丸サポートスクール）

◇ **文化・歴史に触れる機会** - 伝統文化教室

◇ **スポーツ活動の支援・指導者の育成** - 地域クラブの運営支援

地域の力がこどもの学びを豊かにする。

王寺町は、学校・家庭・地域が協力し、こどもたちの成長を支える“地域教育力”を高めています。



生涯学び、活躍できる環境づくりの推進

誰もが生涯にわたって学び、文化・芸術やスポーツに親しめるよう、多様な学習機会の提供と活躍できる環境づくりを推進します。

生涯を通じた多様な学習活動の振興

文化・芸術に触れる機会の充実

スポーツに親しむ機会の提供

PICK UP 生涯学べる環境づくり

王寺町では、こどもから大人まで、住民一人ひとりのライフステージに応じて、主体的に学び続けることができるよう生涯学習活動を推進します。図書館、公民館、体育施設など、町内の多様な施設を活用し、文化・芸術、スポーツに親しめる機会の充実を図ります。



第2期王寺町教育振興ビジョン（概要版）

令和8年3月

編集・発行 王寺町教育委員会
TEL：0745-72-1031

〒636-0002 奈良県北葛城郡王寺町王寺2丁目1番18号 やわらぎ会館内
FAX：0745-72-9588 URL：<https://www.town.oji.nara.jp/>